

令和2年度 第2回区政会議 当日いただいたご意見への回答

項番	委員・グループ名	ご意見	回答又は西区の考え方
1	防災・防犯・コミュニティ	<p>・イベント(祭り、餅つきなど)への参加は多数あるが、町会加入に繋がっていない。</p> <p>・新たな担い手の確保につながらず、後継者不足の解消につながらっていない。</p> <p>・防災なら年齢も関係なく皆の共通の課題となると思う。防災を切り口として町会加入につなげるような取組みができないか？</p> <p>・マンション居住者から町会加入のメリット、デメリットを問われることがあり、メリットが感じられなければ町会加入もなされない。</p> <p>そのような観点からも防災の取組みであれば居住者みんな平等に必要なことであるので、町会加入への取組み、並びにコミュニティの育成にも効果的なのではないか。</p>	<p>・地域活動の担い手の確保や町会加入の大切さは、区役所といたしましても十分認識をしているところです。</p> <p>・日頃から隣近所・地域の皆さんとコミュニケーションをとっておくことにより、いざ災害が起こった時にマンション居住者同士や居住地域の人々と助け合う、いわゆる「共助」の大切さを、防災訓練時のみならず、あらゆる機会を通じて広報してまいります。</p> <p>・引き続き、防災・子育て・高齢者の見守りなど、各地域で様々な活動をされていることにつきまして、広報紙やHP等を通じて地域のコミュニティの重要性を周知してまいります。</p>
2	防災・防犯・コミュニティ	<p>・町会加入促進の取組みについて、他都市などで効果的な取組みや活動がないか調べてほしい。成功事例などの紹介もお願いしたい。</p>	<p>・大阪市では別添のとおり、政令指定都市における自治会・町内会の加入促進の取組を取りまとめております。</p> <p>なお、こういった他都市の取組みを参考に、現在大阪市としても不動産業界団体と協定を締結し、団体加盟店舗を通じて転入予定者へ加入を呼びかけるなど新たな取組みについて検討しております。</p> <p>・西区役所としてもこの動きにあわせ、マンション管理組合・事業主等向けリーフレット等作成したいと考えております。</p> <p>今後、地域の皆様の取組み、行政としての取組み含め、効果的と考えられる事例があれば、区政会議の場等を活用して提供させていただきます。</p>
3	防災・防犯・コミュニティ	<p>・青少年指導員の活動など、行政への資料提出などが煩雑であり、せつかく担い手として活動に参加してくれた方でも、煩雑な事務に追われるのが嫌で辞めてしまわれる方もいる。何らかの対策を講じられないか？</p>	<p>・活動報告書や交付金の申請書、清算報告書については、要綱が定められており、必ず提出しなければなりません。区役所としましても、青少年指導員の活動や担い手不足の妨げにならないよう出来る限りの支援をまいります。</p>
4	防災・防犯・コミュニティ	<p>・新たな取組みとして、町会で野球チームを作るなど町会に対する興味を喚起する取組みを考えている。</p> <p>その際、初期に必要な備品などの購入に対して公金の充当をいただけるなどの支援はできないか？</p>	<p>・地域で町会加入促進に向け、様々な取組みをされていますことに敬意を表します。</p> <p>お尋ねの公金の充当ですが、現在、市の施策では一部の区民の方のみを対象とするような活動に公金を投入することは出来ませんので、ご理解をお願いいたします。</p>
5	防災・防犯・コミュニティ	<p>・区役所の関与するイベントについて、同じ日に重複して実施していた例がある。</p> <p>重複しないように日程調整をきちんと行って欲しい。</p>	<p>・区役所、各種地域団体、NPO団体等が主催するイベント・行事について開催日程の重複がないように、改めて区役所内における情報共有の再確認を行うとともに、可能な限り関係先へも情報提供を行ってまいります。</p>
6	防災・防犯・コミュニティ	<p>・高齢の方が避難されることも想定し、避難所における備蓄物資について、段ボールベッドなどもあればよいと思う。</p>	<p>・段ボール製簡易ベッドにつきましては、保管に大きなスペースを要し、備蓄倉庫スペースの関係上、常時配備しておくことが困難なことから、本市が締結した「災害救助物資の供給等に関する協定」に基づき、災害時に段ボール製簡易ベッドなどを供給していただくこととしております。</p> <p>なお、いただきましたご意見を踏まえ、避難所開設後速やかに介護等が必要な方にも使用していただけるような、小さいスペースでも備蓄が可能な折り畳み式簡易ベッドなどの配備についても検討してまいります。</p> <p>今後も、避難所の状況などに応じ、必要な備蓄物資について地域のご意見もお聞きしながら、順次配備してまいります。</p>

令和2年度 第2回区政会議 当日いただいたご意見への回答

項番	委員・グループ名	ご意見	回答又は西区の考え方
7	福祉	<p>・コロナ禍において雇い止めになったシングルマザーなど貧困家庭への支援や、子ども食堂への支援についてどのようになっているか？</p>	<p>・西区ではひとり親家庭サポーターによる相談窓口を週2日開設し、ひとり親家庭に対する相談・情報提供機能の充実と、就業支援を推進しています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭については、子育てに対する負担の増加や収入の減少などにより特に大きな困難が心身等に生じていることを踏まえ、こうした世帯を支援するため、国で「ひとり親世帯臨時特別給付金」として令和2年度第二次補正予算が成立したことを受け、大阪市においても給付金の給付を行っています。</p> <p>・こども食堂の支援については、大阪市が主体となって大阪市社会福祉協議会と連携し、こどもの貧困対策や活動の情報交換をはじめ、企業からの申出による物資等を社会福祉施設を通じてこども食堂へ提供する等「こども支援ネットワーク」事業を実施しております。</p> <p>西区のこども食堂についても、「こども支援ネットワーク」に加入していただくことでこども食堂等の万一の事故に対応した保険料を全額補助するなど活動団体の運営基盤を支えるための支援を行っています。</p>
8	福祉	<p>・コロナの影響で高齢者の外出が減っており、フレイル(※)に直面している状況。 (外に出るのが怖いということで、引きこもられ、定期的に行かれていた通院もされなくなり、動かない、話さないなど心身に影響が出ることにより施設に入ってしまうなどのケースが出ている。結果、空き家も増えている。)</p> <p>・百歳体操や食事サービス、老人クラブの活動など地域の活動を再開していただいている。 人と会って、動いたり、話をすることを望んでおられる方が非常に多くおられる。 感染対策をきちんとし、イベントが安全に開催されるという観点でもアピールをしていただくことにより、より多くの方に参加してもらえらると思う。</p> <p>・地域の顔見知りの方が参加されるクラブ活動と、不特定の参加者が見込まれるイベントでは感染対策(方法・程度)も変えて良いと思う。</p> <p>※フレイル・・・「動かないこと(生活不活発)」により、身体や頭の働きが低下し、歩行や身の回りのことなどができにくくなる虚弱な状態</p>	<p>・フレイルの予防には、感染予防をしつつ、人と人とが交流し、適切な外出、会話などを行うことが大切です。</p> <p>・百歳体操や食事サービスなど地域で展開されている活動は、フレイルの予防に大きな役割を果たしています。</p> <p>・本市では、令和2年6月に、安心して地域活動を再開していただくため、活動内容に応じた感染対策のチェックリストを掲載したガイドラインを作成し、地域団体の会議等で説明・配付しました。</p> <p>・また、百歳体操などの活動を始めるときの注意点をまとめた啓発ビラを作成し、活動再開時には保健師が訪問し運営状況を確認しております。</p> <p>・令和2年8月発行の区広報紙「かぜ」においても、感染対策を行いながら再開している地域活動や施設をご紹介します。</p> <p>・イベント等の広報の際には感染対策に注意して実施することを周知するとともに、今後とも、高齢者をはじめ区民のみなさんが「新しい生活様式」を取り入れて、安心して安全にいきいきと様々な活動に参加していただけるように取り組んでまいります。</p>
9	教育・子育て	<p>・堀江中学校が現在の西高校舎へ移転することになっているが、空いた堀江中学校の敷地の利活用の方針はどうなっているか？ 堀江中学校は現在、地域の避難所となっていることも含め、行政の側だけで今後の方針を決定するのではなく、地域の声もきちんと聴いてほしい。</p>	<p>・児童・生徒が増えている中で貴重な教育用財産であると認識しており、有効な活用方法について、地域の声も聴きながら検討してまいりたいと考えております。</p>
11	教育・子育て	<p>・保護者から一時保育がなかなか利用できないという声を聞く。受け入れなど充実を図ってほしい。</p>	<p>・一時保育(一時預かり事業)につきましては、こども青少年局が事業者の公募を行っていますが、事業者からの応募が少ない状況にあり、西区においては3施設のままとなっております。</p> <p>応募者が低迷する原因と考えられます開設初年度の経済的負担や保育士の確保などの課題に対し、補助制度の改善に向けて子ども青少年局と協議をするなど、引き続き施設の拡充に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、ファミリー・サポート・センター事業において、保育所・幼稚園への送迎や急な用事ができたときなどに一時預かりを依頼できますので、ご利用いただければと思います。</p> <p>※ファミリー・サポート・センター事業とは、急な保育ニーズに対応するために、こどもを預けたい方(依頼会員)とこどもを預かりたい方(提供会員)が地域で互いに助け合うシステムであり、事務局は西区子ども・子育てプラザ内にあります。</p>
12	教育・子育て	<p>・子育て関係のイベントについて、コロナにより中止になっているが、オンラインでの取り組みは考えられているか？ オンラインの環境があれば、コロナ感染を恐れずに参加でき、相談も含めてふれあいの場が確保でき、助かる人もいると思う。</p>	<p>・保護者の孤立化を防ぎ地域との繋がりづくりを支援するため、身近なところで気軽に子育ての相談や支援が受けられる「つどいの広場事業」を実施しておりますが、コロナ禍において子育て関係のイベントが中止になる中、オンラインでの取り組みが有効であると考えております。</p> <p>子育ての不安や悩みごとなど、みんなと話をしたいという保護者を対象にオンラインでの実現に向けて関係先と調整して参ります。</p>